



つべつ

第104号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和5年7月1日発行

<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>

<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

身近な福祉相談所「ぽっと」の担い手さんと 視察研修に行ってきました



音更町社会福祉協議会

コミュニティサポーターと意見交換



十勝川下流防災施設を見学



十勝ヒルズで

ちょっとひと息



5月29日から30日の1泊2日の日程で、身近な福祉相談所「ぽっと」の担い手と一緒に視察研修へ行ってきました。

今回は、音更町社会福祉協議会のコミュニティサポーターさんとの意見交換会を行いました。津別町の約10倍の人口の音更町。それぞれの町の地域性などをふまえ、お互いの活動について意見交換を行いました。

2日目は、池田町にある十勝川下流防災施設で、河川の氾濫による災害について見学などを行い、改めて防災について考える機会となりました。



この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

令和4年度事業と決算の報告

令和4年度も、町民の皆さまから会費・寄付金・ボランティア支援などたくさんの善意をいただき、事業を展開してまいりました。令和4年度の事業報告と収支決算が6月26日の評議員会において、次のとおり承認されました。

I 事業報告の概要

令和4年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画（令和2年度～令和6年度）」の3年次の取り組みをもとに推進してきました。新型コロナウイルス感染症の影響は続きましたが、サロンの開催も進み、まだ、みんなでの会食まではできていませんが、人と会う、話をする、笑うということがとても大事なことだとコロナがもたらしたことで実感してきたのではないのでしょうか。

津別町の人口（令和5年3月31日現在）は、4,142人 高齢化率45.87%となりました。65歳以上の人口は、1,900人で「津別町高齢者保健福祉計画・第8期津別町介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）」の予想より高齢者人口や高齢化率は若干低いものとなっていますが、高齢化率では管内1位（令和4年1月1日現在、全道22位）は変わりません。津別町は、1.18人で高齢者を支えていることになりますが、みんなでみんなを支える、繋がり合う中で「福祉で町づくり」を取り進めてきました。

北海道では、「北海道ケアラー支援条例（令和4年北海道条例第2号）」が令和4年4月1日施行され、道民全体が一体となってケアラーを支える地域づくりを推進していくことになりましたが、「いっぽサポートステーション」として相談体制をとってきています。今年は、保育園児・障がい者・高齢者施設等における虐待・権利侵害報道が相次ぎました。当会では、人権尊重・尊厳保持の実現に向け地域における権利擁護に取り組んでおります。その一つとして、ハラスメント防止についての要綱を定め、働きやすい職場環境の確立を目指しております。

また、令和3年度から「重層的支援体制整備事業」を取り進め、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援について取り組んでおります。その中で、「認定生活困窮者就労訓練事業」を新たな事業として加えてきました。中間的就労の場として就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練、生活支援並びに健康管理の指導を行う事業です。失敗体験の積み重なりによる気力の減退、自尊感情や自己肯定感の低下、地域社会からの孤立に伴う情報の遮断、自ら相談窓口に出向き、相談や申請行為を行うことが困難な者も少なくないことから、就労訓練事業につながっていけるよう、アウトリーチの一つとして、LINEを活用し支援へと結び付けております。

今年度は、「豆のわプロジェクト会議」として手をつなぐ育成会等との事業の取り組みはありませんでしたが、地域住民や障がい者がともに活動を通し繋がり合う事業は、継続していきます。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

II 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

- (1) 重層的支援体制整備事業の中心的事業者としての活動
- (2) 相談支援包括化推進の役割と機能
- (3) 身近な福祉相談所ぽっと
- (4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援
- (5) 権利擁護に関する取り組みの充実

2 地域の支え合い活動の推進

- (1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み
- (2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

3 生活支援サービスの充実

- (1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み
- (2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動
- (2) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施
- (4) 既存の福祉サービス事業等の充実

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

- (1) 社会福祉協議会財政基盤の確立
- (2) 広報活動の充実
- (3) 事務局体制の整備

【実施した主な事業・サービス】

◆あんしん生活サポートセンターの運営 ◆いきいきサロン活動の推進 ◆介護予防いきいきポイント事業 ◆相談支援包括化推進委事業 ◆多機関協働推進事業 ◆アウトリーチ継続支援事業 ◆地域づくり事業 ◆参加支援事業 ◆生活支援体制整備事業 ◆生活支援サポート事業 ◆認知症地域支援・ケア向上事業 ◆福祉有償運送事業 ◆命のバトン配布事業 ◆給食サービス ◆介護器具の貸し出し ◆ふれあい郵便 ◆あんしんコール ◆広報活動の推進 ◆ボランティア活動の推進 ◆安心電話の助成 ◆地域老人懇談会への助成事業 ◆サークルぴゅあ ◆津別町老人クラブ連合会事務局の運営 ◆福祉資金貸付事業 ◆訪問介護 ◆訪問入浴介護 ◆障害者の支援

◆令和4年度 地域福祉推進事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	58,978,088	会費・寄附金・補助金・繰越金等
支 出 合 計	54,635,853	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	4,342,235	次年度へ繰越

◆令和4年度 介護事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	34,648,423	介護保険収入・受託金・繰越金等
支 出 合 計	24,106,044	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	10,542,379	次年度へ繰越

◆令和4年度 福祉資金貸付事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	2,130,977	償還金収入・繰越金等
支 出 合 計	692,414	貸付金等
収入 - 支出	1,438,563	次年度へ繰越

津別町社会福祉協議会「おつきさま」事業

お! つべつで さがして きんかい まちづくり

社会福祉協議会では、地域の支え合い活動を推進しており、高齢者の介護予防、見守り活動を通した困りごとの早期発見や災害時への備え、ボランティア活動による多世代とのつながりづくりなど、地域のみなさんの力の大きさを感じながら事業を行っています。

このたび、津別町がさらに住みよいまちになることを目指し、津別町に眠る支え合い活動「金塊」をみなさんと一緒に探してみたいと考えました!

月明りのような優しいひかり（地域を想う気持ち）が、私たちの住むまちを照らし、身近な支え合いにつながることを期待しています。

■参加対象者
津別町民のみなさん

参加者募集

「金塊」って?

お隣のおばあちゃんの様子を気にしたり、除雪の手伝いをしたり、そんないつもの優しさが津別町にはたくさんあります! いつもの優しさ「金塊」をたくさん教えてください。



日時 **7月21日(金)**
午後1時30分~4時

場所 **津別町中央公民館 講堂**
申込〆切 7/14(金)

※当日の内容

○社会福祉協議会の活動紹介（身近な支え合いについて）

○意見交換

- ① 地域で心配ごとを感じたことはありませんか?
- ② 私が住む自治会にはこんな取り組みがある!
いつも楽しく集まる仲良し組がいる!
- ③ みんなの話を参考に、自分にできることがあるかも!

会場内にて、命のバトン・赤十字バック（手づくり）展示します
ぜひご覧になってください

参加申込み・問い合わせ：津別町社会福祉協議会 76-1161

認知症の人に やさしい津別町に。

認知症サポーターステップアップ講座 フォローアップ研修の開催

日 時 令和5年3月9日(木)
13:30 ~ 15:00

場 所 町民会館

参加者 17名



北見赤十字病院 認知症疾患医療センター
認知症看護認定看護師 福島 恵美子 氏

認知症の方とのコミュニケーションで大切なことを学びました。「伝えようとしていることに耳を傾け理解しようとする姿勢が大事」だということです。家族に認知症の症状が現れたときに、どのような接し方ができるのか考えさせられました。



～ 令和5年度活動計画 ～

- ・ちょこっと茶屋の開催 年4回(7月、9月、11月、2月)
- ・介護する家族の交流会 不定期開催
- ・徘徊模擬訓練(開催地区は検討中)
- ・認知症サポーター養成研修(要望があれば都度開催)
- ・認知症サポーターステップアップ講座



問合せ先



津別町社会福祉協議会 担当 認知症地域支援推進員 山口・門脇
TEL 0152-76-1161 ・ FAX 0152-75-5043

心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和5年3月17日から令和5年6月16日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

東岡清野映子様	・	西4条田中フク子様	・	大通土井正行様
一条通佐藤芳弘様	・	達美安藤ヨシ子様	・	旭町横山智様
恩根幾島和幸様	・	愛知県糸尾浩一様	・	共和濱端美代子様
共和植松彰様				

物品寄付

◆津別ライオンズクラブ 使用済切手 667枚

指定寄付

◆活潑老人クラブへ	東岡清野映子様
◆東岡自治会へ	東岡清野映子様
◆旭町第3自治会へ	旭町横山智様
◆恩根ひまわりクラブへ	恩根幾島和幸様



つべつ護美の会 代表 篠原 眞稚子

6月3日(土)に開催した第11回チャリティリサイクル市の収益金の一部を社協に寄付していただきました。ありがとうございます。

金銭管理のこと
成年後見のこと
など
ご相談下さい。



昔のあそび(コマ・めんこ・ビー玉・おはじきなど) 集めています!!



今年度津別小学校1年生の生活科で、コマやめんこ、ビー玉、おはじきなど、昔の遊びの授業をすることになりました。現在小学校には、「けん玉」や「ぼっくり」はありますが、コマ、めんこ、ビー玉、おはじき、竹とんぼ などはありません。そのため自宅で眠っている、使わなくなった昔の遊びの道具の寄付をお願いしたいと思います。

社会福祉協議会にお持ちいただくか、お持ちいただくことが難しければこちらから取りに伺います。

今年入学した1年生が楽しみにしている授業のため、ぜひご協力をお願いします。

編集 後記

人生100年時代と言われ、定年が伸びてきて65歳・70歳・75歳でも働く方が増えてきていますが、ボランティアの世界はどうなることでしょうか？ 私には先を見通す力はありませんが、年齢に関係なく皆が、ちょっとしたことでも地域に貢献できるような活動ができればいいと思います。

(K)